



CCC学生スタッフによる

地域に根ざし、世界に開く

コラボ通信

第23号
2010年10月13日

目次

CCCって何？

CCCイメージキャラクター結果発表	1
堀川フラワーフェスティバルご報告♪	2
チャレンジファンド	3
ボランティア活動報告	4
DECOスクール	5-6

全部で 71 点の応募がありました～！！

CCC とは、学生が学外で生きた学びを得られるように支援する教育機関です。

地域、社会、世界の人々と出会い、協働することで、大学で学んだ知識を活かしたものにしていけるようにサポートしています。

これまでに、多くの学生がCCCを通して、地域に飛び出し、NPOや市民団体、企業などと連携して共に活動しています。

CCCイメージキャラクター結果発表☆

CCCを身近に感じてもらいたくて始めた企画でしたが、見事大成功を収めました。
たくさんのご応募・ご投票をありがとうございました！
ようやく投票の結果発表をしたいと思います☆たいへんお待たせしました。



第1位

しーちゃん



表現 3年 高橋 杏奈さん

なんと星ヶ丘・長久手両キャンパス合わせて 69 票獲得！親しみやすいデザインに人気爆発☆おめでとうございます！早速これから様々なところで登場してもらいたいと思います♪

2 位

C.C.Cガールズ



現社 4年 土屋 響子さん

3 位

CCC戦隊★こみにゃん



福祉貢献 1年 後藤 恵理香さん

4 位

きつねとたぬき



表現 3年 各務 由里奈さん

堀川フラワーフェスティバルご報告♪

2010 年 5 月 22 日
愛知淑徳大学 DAY

堀川フラワーフェスティバルとは…

名古屋の中心を流れる「堀川」を手作り花バスケットで飾り、都心のオアシスにしよう！！というイベントです。今年は堀川開削 400 年ということもあり、コンサートやオープンカフェ、ゲームレクなど例年以上の盛り上がりを見せていました♪



参加者の声♪



私たち多元文化学会はフェアトレード商品のコーヒーとクッキーを販売しながら、来ていただいたお客様にフェアトレードについての紹介をしました。当日はたくさんの方にフェアトレード商品を購入していただき、身近にできる国際協力について知ってもらうことが出来ました。一人一人ができることから始めるきっかけになると嬉しいです。

文化創造学科（多元）3 年 佐久間実樹さん

私たち星が丘学祭は、こどもたちと一緒にブーメラン作りを行いました。当日に作り方を変更して不安もありましたが、何度も的当てをしてくれる子や一生懸命ブーメラン作りをしてくれる子もいて、たった 3 時間でしたが、子どもからお年寄りまでたくさんの地域の方と交流でき、とても良い体験となりました。

文化創造学科（表現）3 年 川崎紫織さん



チャレンジファンド

今年は 15 団体が
エントリー！！

チャレンジファンドって何？

チャレンジファンドとは、学生が自ら率先して活動し成長していくプロセスを CCC が応援する仕組みです。活動資金の援助や交流の場の提供などを通して、学生の社会貢献活動を支援しています。

6 月 6 日（日）に、プレゼンを行い、下記の 13 団体が助成の対象となりました！その様子をご覧ください



ファンド獲得を目指して
プレゼン中！！
真剣な眼差しです



チャレンジファンドに応募した団体は、サークル団体だけでなく、友達とチームをつくり活動するグループもありました。それぞれ前に出て、どんな活動をするかを発表しました。緊張感も漂っていましたが、同じチャレンジファンドで活動する仲間たちもいるので、温かい空気でした♪

社会貢献するために、私たちは活動します！！
詳しくは CCC の HP まで！（チャレンジファンドの活動内容やブログまで情報満載です☆）
また、興味のある活動がありましたらお気軽に CCC までお越しください♪

結果発表！！

以下の団体がチャレンジファンドを通して活躍します☆

団体名

Fm7
Happy♡Balloon
ヘルパーサークルあじゅあす
打★TAKIYA
Shu-Shu-Train ☆
児童文学研究会「天のひつじ」
大学祭実行委員会（星が丘）
福祉貢献学会（地域密着班）
ちょこっと Happy 実行委員会

ASU element project
あすてく
一互一縁
大学祭実行委員会（長久手）

プロジェクト名

音楽を通して触れ合おう！
みんなに笑顔を届けよう！！
なかまの夏まつり
音楽を通じて心をつなごう
～キャップという小さな資源から人間を救おう～
ひつじプロジェクト（子ども達と異文化に触れる）
目指せ！地域密着型大学祭！！
地域の輪（畑プロジェクト・交流広場）
学校内フェアトレード商品導入をとおして、
学生と地域の活性化
小学校英語サポート
IDO 車椅子移動支援マップの作成
障がいがある子ども達にチームケアを。
地域ともっと近づくクリーン活動

ボランティア活動報告

フィリピン・フェスティバル

当日の映画上映スタッフ、ディナーのスタッフ、案内係、準備・片付けなど。

当日は朝から空は雲に覆われていて、暑くもなく、作業がしやすい日でした。今回のボランティアは3回目だったそうで以前植樹した木の周りに生い茂ってしまった下草を刈り取って、植樹した木を育ちやすくするものでした。初めて鎌を使って下草刈をしました。思ったより簡単にできました。1時間の作業でしたが、あっという間に終わってしまいました。終わった後の様子は、ぼうぼうだった下草が刈られて、植樹した木だけがきれいに残っていました。雑草が生い茂っていたところ所がとてもきれになって、満足感がありました。

国文1年 高橋 貴絵さん



今回のフィリピンフェスティバルのスタッフが、私にとって初めてのボランティアでした。現場はほとんどがフィリピン人で、日本人はスタッフの方しかいませんでした。私は英会話に自信がないこともあり、最初は不安でしたが、主催団体の方々や淑徳の先輩方が優しく教えてくださったおかげで、当日は楽しく参加することができました。しかし、活動の中で、少し英語を話さなければいけない時があり、自分の英語力のなさを痛感する場面もありました。

そのようなことも含め、勉強になったし、良い経験になりました。

この経験を生かしてこれから様々なボランティア活動に参加したいと思います。

交流文化1年 安江葵さん

なごや西の森づくりツアー

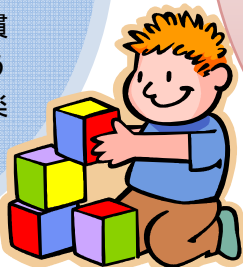
育樹作業（下草刈り）・木工クラフト

名東児童館 移動児童館

乳幼児コーナー、小学生コーナーに分かれて、安全確認を行いながら遊ぶ。

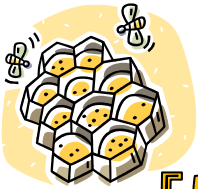
乳幼児は気まぐれで、少しボールで遊んだかと思えば、積み木など、他の遊びをしたり最初は戸惑いました。でも、お互いにオモチャを譲り合って仲良く遊んでいたと思います。私は、乳幼児コーナーの担当で全然小学生の子たちとは関わっていなかったけど、すぐに慣れてくれました。集団遊びでもう少し人数が多かったら、もっと楽しかったと思います。

教育1年 伊藤由妃さん



私は初めてのボランティアだったので、何をすればいいか不安でしたが、思っていた以上に気軽にでき、楽しく過ごすことができました。主催の方々も優しく、安心して活動することができました。児童とも怪我なく、笑顔で楽しく活動することができました。最初から元気よく明るい児童もいれば、怖気づいてどうしようか迷っている児童もいました。私たち主催のゲームも楽しんでもくれたようで嬉しかったです。遊びが終わり、片付けをしているときに、自分の遊びをやめ、お手伝いをしてくれる児童もいて、感心しました。様々な遊びがあり、良い経験になりました。また、ボランティアに参加したいと思います。

教育1年 村田明日香さん



DENSO DECOスクール

学生スタッフがブースを出展しました!!



『Bee Active!!~HACHIスクール~』

DECO スクールって？

地域社会や地球環境の現状への関心と理解を深め、
一人ひとりが日常生活の中で
楽しく取り組めるアクションを学ぶ学校のことです。
DENSO (デンソー) + ECO (エコ) = DECO (デコ)

DENSO さんは DECO スクール以外にも、まちをキレイにし花を植える活動等を行う「ハートフルデー・DECO ウォーク」や、消灯してキャンドルを使用し、日常生活における省エネ意識の向上につなげることを目的とした「キャンドルをやらナイト!」などの地域貢献や環境問題の活動も行っています!!

私たちのブース内容は以下の通りです☆

①ハチについて知ろう

簡単なクイズや、パネルでハチの生態や受粉の仕組みについて勉強しました。

怖いと思われがちなハチですが

、大切な役割を担っていることをみなさんは知っていますか？

「ハチの仕事って何?」「ミツはどこにあるの?」などを考えました。

②はちみつべっこうあめを食べよう

ハチについて理解が深まったところで、

ハチミツでつくったべっこう飴をたべてもらいました。

③現状をしろ

新聞記事や書籍から、ハチの失踪・大量死が騒がれていることを知り、それに伴う問題について考えました。

④感想を書いてハチの巣をつくら

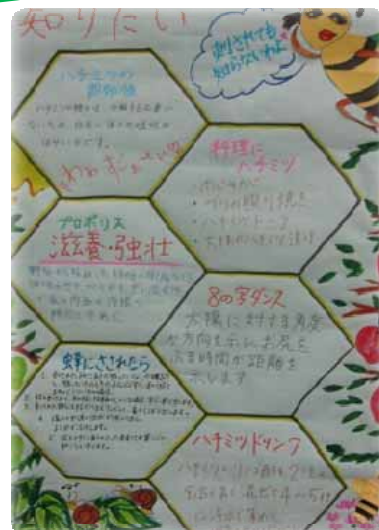
六角形のカードに感想などを書いて大きなハチの巣をつくりました。

企業の社会貢献に関わる地域との連携の重要性について学ぶため、愛知淑徳大学では DENSO さんの DECO スクールに 2007 年開設当初から携わらせていただき、それ以来お付き合いを深めさせていただいています



ハチのカチューシャをみんなですて、説明をしました♪

みんなに分かってもらったら、ハチについての感想・思いを書いてもらったよ☆



* ハチミツのべっこう飴作り *

ハチについての説明を受けてから、皆さんに学生スタッフが作ったハチミツのべっこう飴を食べてもらいました。また、作りたい！！と言ってくれた方には一緒にべっこう飴作りを体験してもらいました。

ハチが一生に取るハチミツの量は、なんと！！**スプーン1杯分！！**

その分量の蜂蜜と砂糖とお水でハチミツのべっこう飴を作りました。スプーン一杯一杯とって作るところを皆さんに見てもらうことで、ハチミツの尊さを感じてもらうことが目的でした。



* 来てくれた人達の感想 *

ミツバチの問題についての新聞記事の説明を受けてから、感想を書いてもらいました。

葉っぱ・ハチの巣・ハチの色とりどりの三種類の紙の中から選んでもらいました。

主な感想内容は・・・

- ・ハチさん、いつも頑張ってくれてありがとう。
 - ・大嫌いだったハチが少し好きになりました。
 - ・ハチも人間と同じ。小さな体でも大切な命。
- ハチさんが採った蜂蜜、大切に食べます！！

などでした。

皆さん、ハチについて様々な考えをしてくれたみたいで良かったです。

* 私たち★学生スタッフの感想 *

「痛い！怖い！！」そんなマイナスイメージばかりの蜂だけど、大きな役割を担ってくれているのだと知ることができました。

ブースに来てくれた子どもたちや親御さんが、楽しみつつ、おいしくべっこう飴を食べしてくれるのを見て、私もニコニコ♪知ってもらうきっかけになればかな～

約80名の方に参加していただいて、大人の方にはハチの特徴・問題点などを知っていただくことができ、子どもにも楽しんでもらうことができました！！

蜂がいなくなるだけで私たちの生活に支障がでることに、非常に驚きを感じました。これからは、自分たち本位に考えるのではなく、様々なものに感謝や思いやりの気持ちを持つことが大切だと思いました。

	長久手キャンパス	星が丘キャンパス
利用時間	9:00～18:30（授業日以外 9:00～17:00）	
場所	アクティブラーニングスタジオ内	5号館1階
連絡先	0561-62-4111	052-781-1151
E-mail	asccc@asu.aasa.ac.jp	